

# わのきのいち

発行 豊中市 政策企画部 コミュニティ政策室

## -TOPICS-

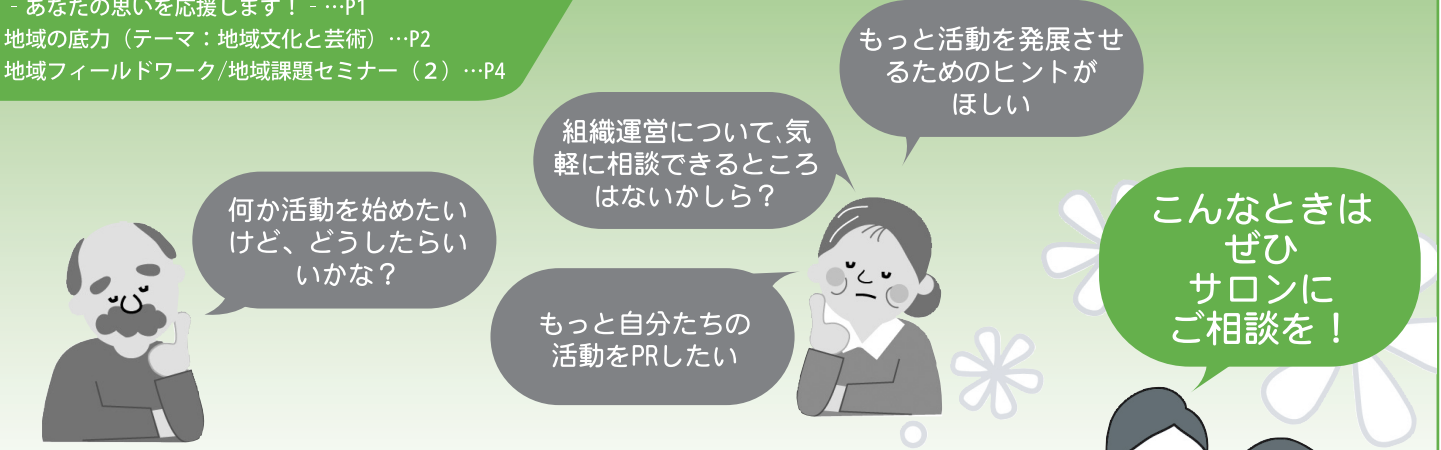
市民活動情報サロン

-あなたの思いを応援します！- …P1

地域の底力（テーマ：地域文化と芸術）…P2

地域フィールドワーク/地域課題セミナー（2）…P4

## Pick up NEWS



# 市民活動情報サロン

あなたの思いを応援します！

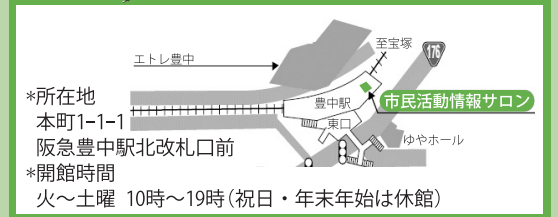
## 市民活動情報サロンって？

市民公益活動を推進するために豊中市が設置した、情報の受発信と交流の場です。市民公益活動を行っている人や、これから始めようとしている人を応援し、また、より多くの人に活動に関心を持ってもらえるよう、活動に役立つ情報を収集・発信しています。多くの人が出会い、交流するきっかけとなる催しなども実施しています。

平成16年度（2004年度）からは、より効果的な事業を実施するため、市民公益活動団体からの事業企画・提案を募り、サロンで行う事業の企画・実施および施設の管理・運営を、市民公益活動団体に委託し、協働で運営しています。

### ●サロンの事業

- ・チラシやパンフレット、イベント情報などの収集や提供
- ・活動を行っている団体の情報発信（ショーウィンドー展示・交流会）
- ・活動に役立つ書籍の貸出
- ・団体情報掲載団体への活動支援
- ・活動をはじめた方や組織運営に関する相談



▼応募団体による公開プレゼンテーションの様子

参加者  
22人

## 公開プレゼンテーション・審査で決定

平成22年度（2010年度）からの委託について、応募団体からの提案を審査した結果、NPO法人とよなか市民活動ネットワークの提案に決定しました。

..... 応募団体（2団体）.....  
NPO法人 Age de Publish / NPO法人 とよなか市民活動ネットワーク

## 地域の文化活動の仕掛け人

### ほたる企画

ほたる企画は、地域の文化・芸術活動などのイベントの企画・運営支援を行う事業を展開しています。これまで、岡町の商店街のお祭りや、庄内地域でのイベントの連絡調整・進行管理を行うなど、多くの地域活動に関わってきました。活動に対する責任と継続性をより明確に示すために、ボランティアではなく、コミュニティ・ビジネスとして活動しています。

ほたる企画は、活動の場を豊中市内に限定しています。豊中にこだわることで、地域と日頃から関わりを持ち、イベントが終わった後も「つながり」を保ち続けています。日頃から顔を合わせる関係ができていれば、主催者の思いに共感し、より良い企画を一緒に作っていくことができます。地域に根つき、一時だけに留まらない継続的な活動を展開できることが、ほたる企画の一番の強みです。



すでに地域には、イベント企画・コーディネートを担う文化・芸術の仕掛け人がたくさんいます。こうした人々を繋いでいけたら、もっと面白いことができるのではないか、と企んでいます。(田中久美子さん)



▼地域イベント  
「豊中だがいや楽校」の様子

## みんなで育む歴史と文化

### とよなか・歴史と文化の会

「中世の城跡」と「昭和初期の和洋折衷の建物」という時代が重なり合った空間「原田城跡」と「旧羽室家住宅」が市民の手で保存活用されています。市から同施設の管理運営を受託している「とよなか・歴史と文化の会」は初期のころは、歴史文化というテーマに関心を持つ人たちの集まりでしたが、各地の先進事例を皆で見学に行き議論を重ねるたびに、保全と活用について能動的なかわり方をしようという機運が高まりました。旧羽室家住宅という活動拠点ができからは、会員それぞれが演じる側に立つことで、活動力・市民力を高める結果となりました。



▼定期イベント「こども広場」  
カルタ会の様子

また、施設の管理については、4人1チームの少人数単位で「受付」「兩戸の開閉」「接待」などを役割分担し、工夫を凝らしています。さらに、会員が活動しやすい時間帯である午後0時から4時までを会の活動時間とするなど、細かな配慮も忘れません。こうした配慮は、知恵と労力を惜しまない活動を長続きさせるための秘訣といえます。

2009年10月に現在の名称に変更しました。その理由は、こうした市民力を高める活動を原田城跡だけでなく、全市レベルで広げていきたいとの思いからです。(山田廣次さん)



## 千里ニュータウンのお土産を作ろう!

### 千里グッズの会

平成14年(2002年)、新千里東町にある地域住民の交流の場「ひがしまち街角広場」に集う仲間と大阪大学の研究者の会話から発足したのが「千里グッズの会」です。千里を訪れた人に、また、他の地域に住んでいる人に、まちの情報を伝え、共有する媒体を作ろうと、「千里の絵はがきプロジェクト」が始動しました。

絵はがき制作を担うのは主に大学院生たちです。四季折々の風景から日常生活の一コマまで、ニュータウンのさまざまな姿をカメラに収め、得意のパソコン技術を駆使してデザインします。これまでに作成した絵はがきはおよそ500種類。鮮やかな紅葉の並木道や、古い写真と同じ場所で撮影して両者を対比させた団地風景などが、特に人気を呼んでいます。一方で、この数年の間にも団地の建替え等が進み、今では失われた風景も見られます。一枚の絵はがきが、住民の暮らしと共に心に刻まれた風景やまちの歴史、文化を見える形にし、まちの魅力として発信するとともに、新しく移り住んだ住民や次世代に受け継いでいく役割を果たしています。



▼学生の研究成果の報告会。論文の図表をデザインした絵はがきもあります。

いろいろな人が集う場があったこと、また、地域の人たちが「その眼」を受け入れ、「やってみよう」と協力してくれたことで、このような試みが実現できました。(鈴木毅さん・写真中央。ほか、左から加福共之さん、若林可奈さん、太田博一さん、奥居武さん)



## 芸術がもたらす人とのつながり

### NPO法人 パフォーミングアーツコーポレーション(通称:パコ)

毎年2月に行われている「素のままフェスタ」は、プロからアマチュアまでさまざまなアーティストが歌やダンスなどを披露し観客と共に楽しむステージです。これを裏方で支えているのが、NPO法人パコです。「障害者の可能性の発掘」と「障害者の社会参加」を柱に、障害者の芸術活動を企画、演出、サポートしています。



▼イベント  
「素のままフェスタ2010」の様子

設立のきっかけとなったのが、福祉作業所「糸をかし」での人形劇団の活動です。一人ひとりの個性を活かせる役柄を考え、脚本を創作することにより、障害のある通所者が生き生きと演じる舞台を作り上げてきました。観客の反応によりさらに成長していく姿を見て、芸術の力を障害者の社会参加に活かそうと考えたのです。

素のままフェスタは、入場料をいただいている以上、良いパフォーマンスを見せる必要があります。いつも上をめざし、新しい企画を考えることを心がけています。(河北英一さん)





# 地域フィールドワーク ▶▶▶進めています

市では現在、地域と市の新しい関係を築くために「地域自治」の仕組みを検討しています。より使いやすい仕組みとするために、新千里東町をモデル地区として意見交換を進めています。

## ●第3回

地域自治組織の取組みと、これからの地域と行政の関係について意見交換しました。

市の組織の縦割りの弊害や、地域担当とそのバックアップ体制について検討は進んでいるのか。新しい制度が始まっても市の体制が今までと同じだったら困る。

VOICE



1/16開催、参加者数22人

VOICE

取組みをやってみる価値はある。市の提案を東町に当てはめて、東町流でやってみては。

各団体の上部組織の理解を得ないと団体同士の連携が進められず、活動しにくい。各団体でこういったことが問題になるのでは。

VOICE

VOICE

東町の実行委員会形式はうまく機能しているが、少数ニーズなどは取りあげにくいという限界もある。

第1・2回の内容はちいきのわ第3号に掲載しています。

## 実施報告

### 地域課題セミナー②「みんなに伝わる！情報共有のヒント」

新千里東町地域では、自治会、校区福祉委員会、公民分館、防犯協議会が合同で新聞委員会をつくり、地域の情報を1つにまとめて発行しています。前新聞委員のお二人に、委員会発足時のお話や編集の手順、コツなどを紹介していただき、参加者のみなさんと意見交換を行いました。また、地域ホームページの紹介もありました。



2月6日（土）千里公民館で開催（参加者23人）



#### \*講師紹介\*



進行役  
すくた はるお  
直田 春夫 さん  
NPO法人NPO政策研究所理事長



事例紹介  
あかい すなお  
赤井 直 さん  
東丘新聞委員会 前委員長



にしだ たかこ  
西田 孝子 さん  
東丘新聞委員会 前編集委員

#### \*参加者の意見\*

- ・私の地域は各団体がバラバラに広報誌を発行しているが、1つにまとめれば地域全体の活動が分かりやすくなると思う。
- ・住民にとっては、どの団体の行事ということよりも、いつどんな行事があるのかという情報が重要。
- ・広報誌には自分が言いたいことを書くのではなく、「読んでもらいたい」という気持ちが大事。

など、多くの意見が出されました。

★今回の講義の概要をコミュニティ政策室で配布しているほか、下記ホームページで紹介しています。

#### 発行

豊中市 政策企画部 コミュニティ政策室

〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1（豊中市役所 第二庁舎3階）

TEL 06-6858-2727 FAX 06-6858-2667

メール community@city.toyonaka.osaka.jp

市ホームページ <http://www.city.toyonaka.osaka.jp/top/bousai/npo/index.html>

